

こあら組

— 年間目標 —

- ◎ 食事、排せつの習慣や衣服の脱ぎ着等、簡単な身の回りの事を自分でしようとする
- ◎ 遊びや活動を通して、興味や関心を持ち友だちとの関わりを広げていく

— 1学期の目標 —

- ◎ 保育者に見守られながら、安心して自分の気持ちを表すとともに、自分の好きな遊びを楽しむ
- ◎ 戸外遊びを通して水・砂・泥等の自然に触れながら、身体を伸び伸びと動かす楽しさを味わう

— 活動内容 —

たのしいね【外遊び、室内遊び】

(健康な心と体、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い、数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝え合い)

- ・友だちと同じブランコに乗りたいときには、保育者と一緒に10まで数えながら友だちの様子をみて、自分の順番を待てるようになる。
- ・戸外遊びを通して、ダンゴムシ探しや砂遊びなどの好きな遊びを思いきり楽しんでいた。
- ・ウサギに「どうぞ」と言いながらキャベツや人参をあげ、ウサギが食べる姿を嬉しそうに見ていた。
- ・色々な形のブロックを使って、恐竜や新幹線、アイスなどに見立て、様々な大きさや長さの作品を作って保育者に見せて楽しんでいた。中には、友だちに見せる子がいた。
- ・最初は自分の好きな遊びをずっと楽しんでしたが、他の友だちの遊んでいる姿を見て、徐々にパズルや三輪車など色々な遊びをするようになり、遊びの幅が広がった。



できたよ!【身支度、トイレ】

(健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い)

- ・登園した後、自分の帽子やタオルを自分でフックに掛けられるようになってきた。
- ・準備で困っている友だちを見つけると、手伝おうとしたり保育者に伝えようとしたりする姿が見られた。
- ・戸外に行く際に、自分なりに靴下や靴を履くようになる。早く準備が終わると、「もういいかい?」とみんなで言いながら、まだ終わっていない友だちを待ったり、保育者と「待っててね」のやり取りを楽しむ。
- ・5月からトイレトレーニングを始め、みんなでトイレに行き排せつできるようになってきた。排せつできると、嬉しそうに「でた!」と伝えるようになってきた。
- ・排せつに行きたくなったら、ジェスチャーや言葉を使って保育者に伝えようとする姿が増えてきた。



— 1学期の反省 —

- ・戸外遊びや水遊びを多く取り入れたので、思いきり体を動かして遊ぶ姿がよく見られた。
- ・自分の思いを伝える際に自分なりに思いを言葉で伝えられるようになってきたので、たくさん話をし、絵本を読むようにすることで言葉をもっと知り、語彙力を増やしていけるように関わっていきたい。

— 2学期の目標 —

- ◎ 自分の好きな遊びを楽しみながら、友だちと関わるとともに、一緒に遊ぶ楽しさを味わう
- ◎ 身の回りのことを自分でしようとするとともに、自分でできることに喜びを持つ